

第1回 Yamagata 幸せデジタル化有識者会議について

資料1

開催日時 令和2年9月23日(水) 15時～16時30分

テーマ 「デジタル化の本質と社会実装について」

会議概要 各委員の活動内容の紹介とともに、以下のテーマに基づき、様々な意見をいただいた。

以下発言順

	委員	テーマ	いただいた主な意見等
1	矢野圭一郎氏	ベルリン、東欧のデジタル化の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の企業が法人を置く拠点、研究開発拠点、ワーケーションや分散型チームの拠点形成といったデジタル化の拠点としての山形県の可能性など</li> </ul>
2	森本千賀子氏	人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーケーション、リモートワークが今後の働き方の柱となってゆく</li> <li>ワークライフバランスの働き方・生き方への転換を進め、山形でそのロールモデルの県を目指して様々な施策を示すことが重要</li> </ul> <p>など</p>
3	平田 麻莉氏	副業人材と地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリーランス人材の活用促進</li> <li>社員の自律を促してテレワークに取り組むこと</li> <li>国の支援策(中小企業デジタル化応援隊事業)の活用</li> </ul> <p>など</p>
4	田中陽一郎氏	山形県IoT推進ラボの活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然、住空間、交通、防災などの町の機能とテクノロジーが協調し、人々が豊かに暮らせる地域を作る「The Greenest Area」構想の紹介</li> <li>データとICTを駆使して質の高い暮らしができる方向付けと、各地域が持つ特徴的な機能を補完的につなげることの重要性</li> <li>データは共有できる未来の資産であり、県民のものとして、その幸せのために使うという概念の普及啓発の必要性</li> </ul> <p>など</p>
5	可児島ナタリー氏	日本の魅力発信とデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>数より、付加価値と質を考えた観光が重要</li> <li>地域のシーズに合わせ、海外市場を絞ったピンポイントの情報発信</li> <li>外国人目線の情報発信のための地域に住む外国人との協力</li> <li>地域の観光事業者と海外エージェントの直接の連携が必要</li> </ul> <p>など</p>
6	朝井 正夫氏	山形におけるデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI立県を目指し、山形県IoT推進ラボと連携しながら、山形のIT企業内にAIのトップエンジニアを育成し、そのノウハウを地元民間企業に展開する取組みを紹介</li> <li>山形におけるデジタル化の肝は、IT人材の県内定着であり、受け皿である県内IT企業の事業集積が重要であること</li> </ul> <p>など</p>
7	松本 友哉氏	地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインで作る飛鳥ツアー、飛鳥キャンプを実施して、参加者の多くがリアルで飛鳥を訪問したいと言っていた</li> <li>デジタルを活用することにより、距離や時間を越えて地方の魅力(人・モノ・文化)の発信が可能であり、観光や移住などの地域振興へつなげられること</li> </ul> <p>など</p>
8	中川めぐみ氏	地域魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に存在している安価なデジタル技術(LINE、SNS、メール、ブログ、YouTube等)を用いて、初期投資をかけない地域の魅力発信が可能であること</li> <li>大切なのはデジタルを活用して実現したいことを具体的に思い描くこと</li> </ul> <p>など</p>
9	渡会 俊輔氏	イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>今ある技術でかなりのことが出来る</li> <li>進学や就職、転勤等による県外転出者への情報発信を強化し、プラットフォームを構築して、つながりを継続し、県産品の販売拡大、県外PR、Uターン就職等に繋げることが大切</li> </ul> <p>など</p>

# 【デジタル山形県】

※ 以下のようなLINEページ（案）による関係人口拡大のプラットフォームを構築予定

デジタル活用で県外転出者への情報発信を強化し、  
県産品の販売拡大、県外PR、Uターン就職等につなげる取組み

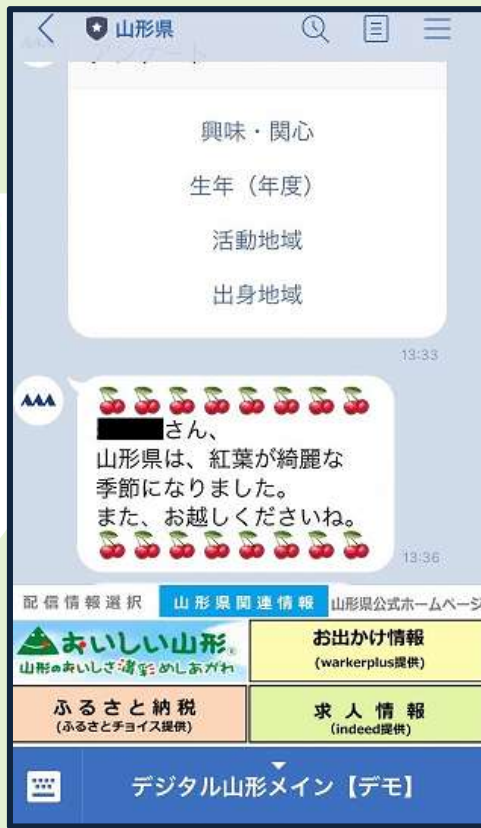
＜ LINEの公式アカウント利活用による県外転出者等への配信 ＞



食

くらし

LINEの  
公式アカウント  
配信情報から  
県の様々な情報に  
アクセスが可能！



デジタル活用で  
関係人口を拡大！

ふるさと納税

旅行

